

平成17年度 沖縄振興特定事業計画評価表

沖縄県

平成18年6月

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

県民が安心して暮らせる安全な地域社会を形成するため、防災・消防活動等の推進を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16年)	実績値(A) (H17年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
消防車両等整備	%	86.0	86.2	100	86.2

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

消防車両等整備率で見ると県全体で0.2%の向上にとどまるが、うるま市は本県内では規模の大きい自治体であり、同市内における消防車両等の活動範囲は最大20kmに及び、救急活動に時間を要していたことから高規格救急自動車の整備による効果は非常に大きい。また沖縄市においては、住宅が密集した道路狭隘地が多いため、小型動力付きポンプ車の配備効果は大きい。

3 目標達成に対する今後の取り組み

消防車両等の整備については、地域住民の生命や財産の維持に直接結びつく事業であることから、非常備町村及び各消防本部の予算措置や整備計画の状況等を勘案した上で、効率的かつ地域の実情に則した事業実施に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

県民が安心して暮らせるよう、感染症の発生予防・まん延防止体制の確保など保健衛生の推進を図り、医療提供体制等の環境整備を促進する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16 年)	実績値(A) (H17 年)	目標値(B) (H23 年)	達成率 (%)
結核患者罹患率	人/10万人	24.4	22.7	15.5	68.3

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(B)/(A)*100

(2) 達成状況に対する説明

血液自動分析装置、X線自動現像乾燥機等の保健衛生設備の整備促進を図ったことにより、結核対策業務の円滑な実施が可能となり、目標達成に向け、前進することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

指標の目標を達成するため、引き続き保健衛生設備の更新等を行う。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

潤いのある学習社会を形成するため、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上及び児童・生徒の程度・特性等に応じた特殊教育を推進することで多様な人材の育成を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H15 年)	実績値(A) (H17 年)	目標値(B) (H23 年)	達成率 (%)
就職内定率	(%)	70.8	84.1	90.0	93.4
進路決定率	(%)	75.0	88.8	85.0	104.5

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況をいう。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

産業教育設備整備事業について、農業・工業・水産業その他の産業に従事する上で必要な知識・技能を効果的に習得させる環境設備が整えられてきており、生徒の各種資格の取得に寄与している。こうしたハード面の整備の効果に加えジョブアドバイザーの配置やインターンシップの実施といったソフト面の支援をあわせて実施したことにより効果的な事業の推進が図られた。

盲学校・養護学校については、あんま・マッサージ・指圧師、はり師、灸師等国家資格取得に向けた教育カリキュラムを実施するために必要な特殊教育設備及び、窯業・農業・木工作业等の職業教育実習に必要な設備を整備した。その結果、生徒の進学・就労への自信と意欲を向上させ、就職内定率については目標達成に大きく前進し、進路決定率については、目標を達成することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

産業教育設備整備については引き続き新規設備の整備及び既存設備の更新を行い、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上、資格取得等の促進により就職内定率の向上に努める。

特殊教育設備整備については、児童生徒の社会参加や自立を図る教育カリキュラムを実施するため、できるだけ個々の状況に対応できるような特殊教育設備を図り、進路決定率の維持・向上に努める。